



FSCだより

北里大学獣医学部 附属フィールドサイエンスセンター

第 54 号 2014.9.4

FSCの設立趣旨

土地、植物、動物及びそれらを取り巻く環境を生命系として教育・研究を行うとともに、これらの研究成果を通して、広く地域社会の発展に寄与することを目的とする。

十和田農場から

お母さん代行始めました！

4月18日に今年第1号のヤギが生まれました。オスとメスの双子です。

真っ白でふわふわでとってもかわいいです。

しかし、おかあさんがダウンしてしまい、追い打ちをかけるように乳房炎になってしまったので、人工哺乳の始まりです。

せっかく人工哺乳するので、名前を付けました。オスが『いちおくん』。メスが『にこちゃん』。メスの『にこちゃん』には首に肉髯（にくぜん）というぼんぼりがついています。



1頭ずつミルクをあげるともう1頭がうろうろして邪魔をしてきます。

すっかり人工乳の味に慣れ切ってしまって、人が近付くとぱかぱかと寄ってきます。

哺乳を始めて3週間ほどたちましたが、もうこんなに大きくなりました。

学生が毎日ミルクをあげに来てくれます。

そろそろ牧草を食べ始めるころなので、お母さん代行ももう少しでお役目御免です。

人工哺乳をした個体はとっっても人に慣れているので、大きくなっても扱いやすくなります。『いちおくん』と『にこちゃん』もこれから実習や実験に大いに役に立ってくれることでしょう。



八雲牧場から

生薬定植 (5/14~15)

農医連携の一環として今年度から実施される八雲牧場における生薬生産栽培ですが、4月25日にシマカンギク（生薬名：キクカ）の苗が届き、ハウスで育苗を行ってきましたが、5/14~15に薬学部の福田先生が来場されて定植の指導を行っていただきました。

生薬の種類は、シマカンギク、ニホンハッカ、センキュウ、シソ、メハジキ、ケイガイおよびチョウセンゴミシです。他にシソ、メハジキ、ケイガイはマルチをかけ播種を行いました。

対照区として、ご協力をいただくことになった八雲産業（株）の圃場にシマカンギクを144株定植させていただきました。



放牧開始 (5/21~)

今年の放牧が開始されました。牛たちも大喜びです。1週間くらい前からそわそわしてパドックから首をのぼして舌の届くところにある青草を一生懸命食べていました。

ようやく外に出してもらい、あまりの嬉しさに飛び跳ねています。



大学はおいしいフェア(5/29～6/4)

5月29日～6月4日まで、佐藤職員が「新宿高島屋大学はおいしいフェア」に参加しました。

八雲牧場からは、ビーフシチューやビーフジャーキーをはじめ、今回初めて塩麴ステーキを販売しました。今回も、本部広報課や十和田キャンパスの皆様にご協力いただき、無事会期を終えることができました。

今年度のグラスサイレージ収穫完了(6/24～26)

6月24日～26日の3日間で、今年度のグラスサイレージを収穫しました。

例年お願いしている農業コントラクターで新規に自走式大型モアコンディショナー(草刈り機)を導入したため、今年から利用することになりました。

草刈りの効率は牧場のモアコンディショナーの3倍以上の能力を有していたため、例年であれば収穫3日前から早朝出勤をして草刈りをしないと間に合わなかったのですが、1日前からの草刈りで間に合うようになり、結果的に水分も丁度良い状態で切り込むことができました。

今年は天候の不順により刈取りが少し遅れてしまいましたが、ここ数年の牧草種子の追播の効果が反映して収穫量はかなり多そうです。



コントラクターによるグラスサイレージ収穫作業

(編集担当：畔柳 正)